



くまのみや

令和3年4月

第119号

宮 社 会
雲 大 敬
出 熊 崇

日常の五つの心

1. 「ハイ」という素直な心。
2. 「すみません」という反省の心。
3. 「オカゲサマ」という謙虚な心。
4. 「アリガトウ」という感謝の心。
5. 「ワタシガシマス」という奉仕の心。

今年も四月十三日に御櫛祭を奉仕いたします。

この祭りは神話の「熊野大神さまである素戔嗚尊が八岐大蛇退治をされる際、素戔嗚尊は稲田姫を櫛に変化させ、自らの髪に刺し結婚、大蛇を退治された」という神話に因み、本殿の大神さま・素戔嗚尊から脇隣に鎮座の稲田神社の稲田姫に結婚の証の御櫛をお供えし、結婚をお祝いするものです。

一月屋根葺替其外□修繕アリ但右永祿度建築ノ後移転ナシ」とあります。そしてさらに江戸期資料『宝暦十四年熊野村神社万指出帳』（二七六四）には「稲田神社―所祭神三座 脚摩乳命・手摩乳命・稲田姫命」とあります。神社の創設時期ははっきりしませんが、実際の神社の在り様を記す『指出帳』の作成年により、江戸後期初頭までは遡られるといえます。

御櫛祭のはじまり

―本殿と稲田神社―

熊野大社宮司 熊野高裕

日々のツトメの中、時々社務所の書庫で古い資料をみることがありますが、先日久々に昔の稲田神社の社殿史等を記述した綴りを目にし、改めて学びました。

紹介しますと、明治期資料『国幣中社熊野神社並撰末社明細図書及附録』（二八九四）に「上古元始ノ創立年月詳カナラス尤今ノ社殿ハ永祿八年ノ建築ニシテ爾来藩主ノ修理ニ係リ維新後宮費ニ属シ明治十一年

とところで、かつての熊野地内の神社の歴史動向をみますと、伝承が中心ですが現存資料では古い明治期資料『熊野大社誌』（一九〇八）等々には「熊野大社の上ノ宮・下ノ宮は戦国期の天文十一年（一五四二）の尼子氏と大内氏の戦乱で社殿を焼失、そしてその再建造営が永祿八年（一五六五）に果され、また意字川の元祿十一年（一六九八）をはじめ幾度かの氾濫で熊野地内の神社の

数社は下ノ宮や近隣神社へ移転造営あるいは合祀された」と記されております。

明治期に入り、下ノ宮を熊野大社として上ノ宮の諸社及び熊野地内の諸神社は撰社等の扱いとされ、明治四十一年（一九〇八）に皆熊野大社へ合祀されました。

こうした熊野地内の神社の歴史の中で、稲田神社は下ノ宮時代から本殿の間近に鎮座し続けてきたとても稀な神社といえます。

祭りの初見は明治二年です『年中祭日』（二八六九）。

ここにおいて、この本殿と稲田神社の鎮座地の関係史を重ねますと、両社殿の両神の間には、明治期以前から人々の両神への縁結びを奉祝し自らの良縁を願う熱い思いが垣間みえてきそうです。独特な御櫛献上の儀々を行うこの祭りは、こういう人々の状況を背景に生まれていったと考えるところです。

ともあれ、今の世は尚も新型コロナ禍中がありますが、祭りは粛々と奉仕したいと思えます。

春のおおみまつり 御櫛祭

四月十三日(火曜日)午前十時斎行

ご案内

〔氏〕 子・崇敬会員・篤信者の皆様方には、熊野大神さまとのご神縁を深められ、ご健康でお幸福な日々をお過ごしのこととお慶び申し上げます。

日頃、熊野大神さまのご神徳顕揚のため働きかけを戴き、ご社頭は年々に賑い愈々ご神威が広まりつつありますことは、ご同慶の至りでございます。

〔大〕 神さまの御心を心とした「御櫛祭」を仕え奉り、ご守護に感謝し、世のため人のために尽くす心を養い、明るい社会づくりに寄与したいものと存じます。

熊野 大社 宮司 熊野 高 裕
熊野大社崇敬会会長 岡崎 朝 臣
熊野 大社 氏子 会
氏子、崇敬会員、篤信者各位

ご報告

本年は昨年引き続き新型コロナウイルス感染症の蔓延により、祭典は神職のみによる無参列奉仕、予定しておりました諸神事、神賑を取りやめることと致しました。

伝統の祭事であり、まことに残念ですが事情に鑑みて致し方ないことと判断した次第でございます。

何卒ご理解を賜りますよう宜しくお願いいたします。

ご祈念のご案内

生命を与えて下さって日々ご守護を戴いている大神さまへ感謝の心をささげ、更に新しい生命力・御霊力を戴き、めまぐるしく変化していく現代社会を心惑うことなく正しく生きぬいていくことが出来ますように、春のおおみまつりにご祈念のお取次ぎをいたしております。お申込み下さい。

一、ご祈念料 伍千円以上

(一つの願いごとにつき五、〇〇〇円以上です)

一、願いごと

家内安全。商売繁昌。良縁。会社発展。従業員安全。厄除。

交通安全。五穀豊穰。安産。病気平癒。進学成就。諸願成就。海上安全。大漁満足。その他ご希望の願いごと。

一、ご祈念を希望されます方は同封の振替用紙に、ご住所、ご氏名、ご年令、ご祈念料を明記してお申込み下さい。一、ご祈念をしたお守はお送りいたします。又ご参拝の際は受付所にお申し出下さい。尚、電話、ファックス、又ご希望の日、何時でも受付いたしております。当社へお問合せ下さい。

四・五・六・七・八・九月の

おまつりの日

四月 一日 早旦祭・奉賽祭
十三日 御櫛祭
春のおおみまつりです。午前十時より斎行。

十五日 月次祭・奉賽祭

二十九日 長寿祭

五月 一日 早旦祭・奉賽祭

十五日 月次祭・奉賽祭

二十四日 元宮祭

六月 一日 早旦祭・奉賽祭

十五日 月次祭・奉賽祭

三十日 夏越祭(大祓)

茅の輪神事とも申し、茅で作った大きな輪が随神門に立ちます。これをくぐることよって心身のけがれ「わざわい」が祓い除かれて健康で幸福な日々をおくることが出来ます。お誘い合せの上ご参拝下さい。

七月 一日 早旦祭・奉賽祭

十五日 月次祭・奉賽祭

八月 一日 早旦祭・奉賽祭

十五日 月次祭・奉賽祭

二十二日 予定

熊野ふるさとまつり

九月 一日 早旦祭・奉賽祭

十五日 月次祭・奉賽祭

春のみまつり・御櫛祭四月十三日(火曜日)午前十時。

令和三年

祝年祭

令和三年祝年祭世話人代表 藤田康一

令和三年一月二十四日に、令和三年祝年祭の式典を無事執り行うことができました。

熊野大社の関係者様、並びに熊野地区の皆様方にご協力頂きましたことを、世話人会代表といたしまして厚く御礼申し上げます。

本年の式典を準備するにあたり新型コロナウイルス感染症対策は避けて通ることができず、実施・中止の判断をするところからのスタートとなりました。

実施を決めてからも、どの様に式典を執り行うのか、世話人それぞれの仕事や都合もある中、定期的に打ち合わせを行い、意見を出し合い協力しながら準備を進めてまいりました。

今回、代表という大役を引き受けさせて頂きましたが、この状況下で一步を踏み出す瞬間に、その重責を感じ、式典が終わる日まで気の抜けない日々であった事を、感じている次第であります。

本年は、祝年の方、計百十三

名の御祈念を「参拝せずにご祈念」という方法で行わせて頂きました。

至らない点があったことと思いますが、皆様のご協力が無事執り行うことができましたこと、感謝申し上げます。

また、ご助言を頂きました前年の世話人会の方々、準備を手伝って頂いた次代の世話人となられる方々、そして当日にお忙しい中、縁起物の配布をお手伝い頂きました神社委員の皆様や各地区の方々にも紙面をお借りしまして、改めて御礼申し上げます。

最後になりますが、この祝年祭を通じて、世話人同士や手伝って頂いた四十一歳の方々の絆ができたことも、この行事があったからこそだと感じております。

これから先も、この祝年祭が脈々と受け継がれるとともに、地域の皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

節分祭

二月二日 午前十一時

新型コロナウイルスが蔓延するなか、感染対策で神社役員に参列を絞り、節分祭厄除招福諸願成就祈禱祭を肅行した。

恒例の午後二時からの豆撒き神事は「密」を避けることが出来な

い為、やむを得ず中止となった。参拝者の皆さんも「鬼は外、福は内」の掛け声を控えて静かに手を合わせて鬼（コロナ）の退散と元の平穏な日々が早く戻りますようにと祈った。

建国祭

二月十一日 午前十時

神社役員、霊友会の皆さんが参列し、建国祭を肅行した。

修祓の後、国歌「君が代」を斉唱、祝詞を奏上した後、国の誕生を祝し「紀元節の歌」を奉唱した。そして氏子会長をはじめ、参列者の代表の方々が玉串を捧げて拝礼し、皇室の弥栄、国家の繁栄、国民の幸福、世界平和を祈り万歳三唱をして祭典を終了した。

熊野大社崇敬会 入会のおすすめ

熊野大神の御神徳を奉戴し、敬神崇祖の誠を致し健全なる国民精神の高揚に努め広く国家社会の繁栄に寄与するを目的とし、その達成のため

- ①熊野大神の御神徳発揚の為祭典、神事、行事及び諸建宇整備と保持に奉賛
- ②会員相互の親睦を計る為機関紙を発行。
- ③必要とする事業を行う。

- 一、会費
- 個人会費(年額)参千円以上
- 団体会費(年額)五千円以上
- 一、待遇
- (イ)会員誕生日は健康と繁栄和楽を祈願、日供祭は全会員の安寧を祈願します。
- (ロ)春秋大祭にご案内します。
- (ハ)新春神迎の「御神符」「干支の絵馬」をお届けします。

- (ニ)会員章を差し上げます。
- 熊野大神さまから幸福の縁が戴かれますようご入会のご案内を申し上げます。
- お知らせの方々へのご勧誘をよろしくお願い申し上げます。

祈年祭

二月十七日 午前十時



コロナウイルス感染対策として
神社役員が代表で参列し、祈年祭
を斎行した。
修祓の後、今年の五穀豊穡、諸
産業の発展、皇室の弥栄、国家の
繁栄、国民の幸福を祈った祝詞を
奏上し、参列者の玉串拝礼が行わ
れ祭典を終了した。
氏子代表の神社役員は豊作を願
い、大神さまのご加護のもと美味
しいお米の生産に努力しますと真
剣な祈りを捧げた。

御狩感謝祭

三月二十八日 午後二時



鳥根県猟友会会長細田信男氏が
始め県内各地より猟友会会員が参
列され、大神さまのご守護によっ
て無事に猟期が終了したことに感
謝し、鳥獣の霊を慰め五穀の豊穡
をも祈った。
祭典終了後の直会は新型コロナ
ウイルス感染拡大防止の為会食を
取り止め、お直会として「兎こは
ん」をお渡しした。

巫女交代祭

三月二十一日 午後三時



伶人、舞講師、小学生巫女、中
学生巫女、巫女父兄が参列して入
学卒業、進級があるこの時期、毎
年恒例の巫女交代祭を斎行した。
修祓、祝詞奏上に次いで退任の
小学生巫女の岩田潤奈さんと森本
凜夏さんは「幣舞」を、中学生巫
女の近藤美里花さんと矢壁舞音さ
んは「浦安の舞」を立派に舞い納
めた。
退任巫女に感謝状と記念品を授
与し、次いで新任巫女に辞令を授
与し、祭典を終了した。
例年祭典終了後は社務所にてさ
さやかな茶話会を行っているが、
本年は新型コロナウイルス感染症

の影響により中止とした。
四月より左記の方々にて祭典時
の巫女舞を奉仕して戴きます。宜
しくお願い致します。

幣舞

- 小学四年生 神庭 夏希さん
- 小学五年生 松本 史帆さん
- 小学五年生 糸原 叶望さん
- 小学五年生 藤田 羽夏さん
- 小学六年生 安達 楓梨さん
- 小学六年生 橘 咲穂さん

浦安の舞

- 中学一年生 岩田 潤奈さん
- 中学一年生 森本 凜夏さん
- 中学二年生 桑原小百合さん
- 中学二年生 須山 優花さん
- 中学三年生 安達 多恵さん
- 中学三年生 恩田 璃乃さん

立志お祝いのまつり

三月二十五日 午後四時

この祭は、当社氏子会の事業と
して氏子中の中学二年生を対象に
行い、昔の元服の年齢に達したこ
とを祝い、大人としての自覚を促
し、世のため人のために働くよう
にしっかりと志を立ててもら
う趣旨で行っている。

祭典後、境内にて立志記念植樹
を行った。今年は新型コロナウイルス
感染症の影響により記念旅行
は中止した。